

平成29年死亡災害事例(茨城県内10月末まで発生分)

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型		災害の概要
			起因物		
No.1 1月 13～14時	作業者 40歳代 2年	陸上貨物 取扱業	崩壊・倒壊 フォークリ フト		倉庫においてフォークリフトで荷(段ボール箱)をパレット積みして運搬中、積荷が崩れたため、下敷きになった。
No.2 1月 10～11時	作業者 20歳代 2年	畜産業	墜落・転落 その他の 環境等		競走馬の調教中、強風に驚いた馬がラチ(木製の柵)に激突した弾みで、騎乗していた被災者が地面に墜落して頭部を強打し、1週間後に死亡した。
No.3 1月 11～12時	造園工 50歳代 20年	その他の土木 工事業	墜落・転落 はしご等		個人宅の敷地内の立木を伐採する作業中、道路側に木が倒れるのを防ぐため、木に2連ばしごを立てかけてワイヤーロープを掛けようとしていたところ、5.9メートル下のアスファルト路面に墜落した。
No.4 2月 15～16時	作業者 40歳代 27年	めっき業	有害物等と の接触 有害物		金属部品の脱脂のため、部品をカゴに入れトリクロロエチレン洗浄槽に浸す作業をしていたところ、意識消失して倒れた。
No.5 3月 8～9時	作業者 40歳代 5年	木材伐出業	激突され 伐木等機械		チェーンソーで伐倒木の枝払い作業中、フェラーバンチャ(伐木と原木等の集積を行う車両系木材伐出機械)が把持していた伐倒木に接触して死亡した。
No.6 3月 13～14時	作業者 70歳代 7年	畜産業	はさまれ・ 巻き込まれ その他の 一般動力機 械		牛舎内で清掃作業中、後退してきた給餌用トラクターに轢かれて死亡した。
No.7 4月 13～14時	作業者 60歳代 3年	その他の土木 工事業	崩壊・倒壊 その他の仮 設物・建築 物・構築物 等		解体工事現場で瓦礫の片づけ作業中、現場を区画するよう設置されていた防塵ネット(高さ8.8メートル)が崩壊し、その下敷きとなり死亡した。
No.8 4月 16～17時	管理者 20歳代 8年	上下水道 工事業	墜落・転落 トラック		水道管の取替え工事現場で、下り勾配の道路に駐車してトラックに用具を積み込み中、突然、トラックが後退したため、被災者は巻き込まれてトラックとともに転落し、横転したトラックの下敷きになり死亡した。
No.9 6月 16～17時	作業者 80歳代 40年	その他の土石 採取業	激突され 立木等		雑木林の傾斜地で、偏心木の伐木作業中、チェーンソーで受け口を切り、次に追い口を切っていたところ、木の元口部分が裂けて倒れ、被災者の背中に当たり下敷きとなり死亡した。

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.10 7月 16～17時	現場職員 30歳代 6年	その他の建築 工事業	墜落・転落	屋根の改修工事現場において、1階屋根（ルーフデッキ）の上に外部足場を組立てるため、1階屋根に上がって歩行中、網入りガラス（厚さ6.8mm）を踏み抜いて、7.1m下のコンクリート床に墜落して死亡した。
			建築物・構築物	
No.11 7月 8～9時	作業者 70歳代 5年	その他の土木 工事業	激突され	雑木林の立木の伐採作業現場において、地面に落ちた枝の回収作業を行っていたところ、事業主がチェーンソーを用いて伐倒した木に激突されて死亡した。
			立木等	
No.12 7月 11～12時	鐵骨工 50歳代 38年	鐵骨・鐵筋コ ンクリート造 家屋建築 工事業	墜落・転落	工場の新築工事現場において、鉄骨梁（高さ13.5m）のボルトの本締め作業中に体勢を崩し、梁に取り付けられたブレース材を掴んだが、固定されていないブレース材の一端が下がったことで、張られた水平ネットを破り、破れ目から墜落して死亡した。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	
No.13 8月 15～16時	作業者 70歳代 0年	その他の建築 工事業	高温・低温 の物との接 触	平屋建家屋の解体工事現場で、作業中の被災者が熱中症により倒れ、コンクリートの床上に頭部を強打し、病院に搬送され治療を受けていたが、7日後に死亡した。
			高温・低温 環境	
No.14 3月 2～3時	貨物自動車 運転者 50歳代 2年	一般貨物自動 車運送業	その他	大型貨物自動車運転手として働いていたが心筋梗塞で死亡、長期間の過重業務により発症としたとして労災認定された。
			起因物なし	

※ 発生の概要は未確定のものがあり、調査の進展により変更となる場合があります。